【北海道伊達市　指定文化財台帳】

<table>
<tr><td>指 定 主 体</td><td colspan="2">伊達市</td><td>指定番号</td><td>第４号</td></tr>
<tr><td>名　　称</td><td colspan="2">館山（たてやま）チャシ</td><td>員　数</td><td>1</td></tr>
<tr><td>指定年月日</td><td colspan="2">1973（昭和 48）年 12 月 27 日</td><td>種　別</td><td>史跡</td></tr>
<tr><td rowspan="2">所　有　者</td><td>氏　名</td><td colspan="3">伊達市</td></tr>
<tr><td>住　所</td><td colspan="3">北海道伊達市鹿島町 20 番地１</td></tr>
<tr><td>所　在　地</td><td colspan="4">北海道伊達市館山町６番地</td></tr>
<tr><td colspan="5">概　　要
「チャシ」とはアイヌ語で柵や砦を意味する言葉です。このチャシは、館山丘陵の先端部を幅約 20m、長さ約 200m もの規模を誇る２本の壕で区画したもので、北海道内のチャシの中でも最大級であると言われています。
壕に堆積した火山灰の分析から、北海道駒ケ岳が噴火した 1640 年よりも前に築かれたことが分かっていますが、用途はよく分かっていません。</td></tr>
<tr><td colspan="5"> </td></tr>
</table>